

人材を育てたい・資格を取らせたい

商工会議所の検定試験

商工会議所の検定試験は、学校教育の試験とは異なり、「社会人として活躍できるかどうか」を問う内容となっていることが特徴で、社会で活躍できる知識・技能を持った人材の育成を目的として実施しています。

対象者

小学生から大学生、社会人、高齢者など、誰でも受験できます

内容

各検定試験の実施日、申込方法は各商工会議所ホームページをご参照ください。

- 日商簿記検定**—簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。企業の活動を適切、かつ正確に情報公開するとともに、経営管理能力を身につけるために、必須の知識です。【統一試験・CBT】
- 日商リテールマーケティング（販売士）検定**—小売・流通業界に従事する人にとって、販売技術だけでなく、消費動向や変化の流れを読み取る能力が必要となっています。小売業における経営・店舗運営に関する総合的な知識を体系的に学ぶことができます。【CBT】
- 東商カラーコーディネーター検定**—色彩の知識を身につけ、色の持つ効果をビジネスシーンで活かすことができます。仕事に役立つ実践的な色彩の知識を学びます。【IBT】
- 東商ビジネス実務法務検定**—自分を守る“仕事の法律入門ビジネスに必要な不可欠な法律知識をバランスよく効率的に学ぶことができ、業務上のリスクを的確に回避できるようになります。業種・業態を問わず、全てのビジネスパーソンにとって必要なスキルです。【IBT】
- 東商ビジネスマネジャー検定**—あらゆる管理職（マネジャー）が身に付けておくべきマネジメントの知識を体系的に学ぶための検定です。マネジャーのミッションを『チームとして成果を出すこと』と定義し、そのミッションを果たすために必要な知識を厳選しています。【IBT】
- 東商福祉住環境コーディネーター検定**—高齢者や障がい者に住みやすい住環境を提案するアドバイザー。医療・福祉・建築について総合的な知識を身につけます。【IBT】
- 東商環境社会（eco）検定**—環境に配慮した製品・サービスが当たり前となりつつある今、環境知識の有無はビジネスに差を生む要素となっています。このように複雑・多様化する環境問題について、総合的な基礎知識をバランス良く身につけます。【IBT】
- 東商国際会計（BATIC）検定**—日本企業の海外進出が進む昨今、グローバルな国際会計スキルはビジネスシーンにおいて必要不可欠となっています。ビジネスの共通言語である会計知識を英語で身につけます。【IBT】
- 大商メンタルヘルス・マネジメント検定**—働く人の心の不調の未然防止をめざし、職場内での役割に応じて必要なメンタルヘルスケアに関する知識や対処方法を習得できます。【統一試験】
- 大商ビジネス会計検定**—財務諸表が表す数値を理解し、その知識や分析力を問う検定試験。企業の経営状態を判断するうえで役立つ会計知識を習得できます。【統一試験】

お問い合わせ先

※試験の実施方法については、各ホームページにてご確認ください。

日本商工会議所検定HP <https://www.kentei.ne.jp>

東京商工会議所検定HP <https://www.kentei.org>

大阪商工会議所検定HP <https://www.osaka.cci.or.jp>

統一試験⇒これまで同様、会場受験

IBT（Internet Based Test）⇒受験者ご本人のコンピュータでご受験

CBT（Computer Based Testing）⇒各地テストセンターへ来場いただき、ご受験